

戸建住宅 vs マンション.....終の棲家？



リビングダイニング.....内装を無垢木材で仕上げる

床/秋田県産ケヤキ板

壁・格子戸/吉野杉無地総赤身板



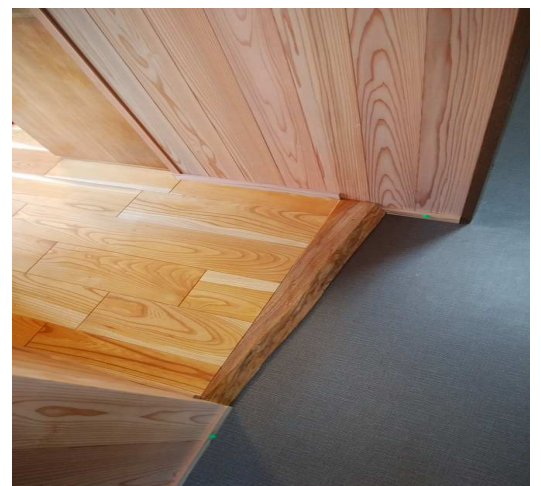
トイレ.....壁面は積層造形をイメージ

“戸建住宅”と“マンション”どちらが良いか？人それぞれの考えもあり正解は無いと思うが年齢と共に駅近マンションも棲みやすいのではと思う。設計者は長らく駅近マンションに棲み、いずれ自然の中の古民家にも移住・・・と思いつけていたが、いざその齢になった時に選んだ選択は都市機能の利便性を優先した“棲み続けたマンションのリフォーム”になった。“自然素材”と“和空間”を好む設計者は樹種の選定に悩んだ結果、床に秋田“ケヤキ”、壁には吉野“無地杉総赤身”を選んだ。いずれも“和”を代表する木で通常の広葉樹には無い“棲家”になった。工事は自営で行い、“変木”仕事が好きで大工を常雇いで依頼。手持ち材を使った“見切”など二人とも満足のいく仕事になった。



和室.....格子戸により緩やかに仕切られた“日本間”空間

正面は“床”に見立てた吊収納棚と床柱・長押



“樫”皮付き木を使った段差見切り

株式会社エーアンドシー設計 S/ISHIDA